

社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名 平成29年度第3回安曇野市社会教育委員の会議
- 2 日 時 平成30年2月7日(水) 午後1時30分から午後3時10分まで
- 3 会 場 安曇野市役所 会議室301
- 4 出席者 細田利章委員(議長)、小穴廣光委員、荻原義重委員、細野修市委員、三澤知子委員、
今村勝人委員、山崎敦子委員、平倉勝美委員、平倉重則委員、浅見郁子委員、
宮川智江古委員
- 5 市側出席者 橋渡教育長、山田教育部長、生涯学習課蓮井課長、図書館交流課丸山課長、
社会教育担当松岡係長、スポーツ推進担当米倉係長、社会教育担当横川係長、
穂高地域課有賀課長補佐、三郷地域課堀内係長、堀金地域課大蔵係長、
明科地域課赤羽係長、文化財保護係山下課長補佐、博物館係財津係長、
図書館交流担当細田課長補佐、図書館交流担当赤沼係長、社会教育担当古畑副主幹、
社会教育担当臼井副主幹
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 平成30年2月16日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課蓮井課長
- 2 あいさつ 細田議長、橋渡教育長
- 3 協議事項
(1) 平成28年度事業報告(追加)について
(2) 平成30年度事業計画について
- 4 その他
- 5 閉 会 生涯学習課蓮井課長

協議事項

- (1) 平成28年度事業報告(追加)について
《生涯学習課社会教育担当臼井副主幹より説明》
委員からの質問意見なし
- (2) 平成30年度事業計画について
《生涯学習課社会教育担当臼井副主幹より説明》
《生涯学習課各係長より説明》
《地域課各係長より説明》
《文化課山下課長補佐より説明》
《文化課財津係長より説明》
《図書館交流課細田課長補佐より説明》

【委員】

新しく建てる穂高北部児童館は、児童が行きやすいように、できるだけ穂高北小学校の近くをお願いします。

【事務局】

いただいた御意見を要素に盛り込んで、建設用地を決定していきたいと考えています。

【委員】

各地域で開催する類似した事業に対する予算の付け方に、大きな格差があるのではないかと思います。もう一度話し合いをするなどして、予算の付け方を公平にさせていただきたいと思います。ただ、各地域に

圧力をかけてやる気をなくすようなことのないようにしていただきたいと思います。

【事務局】

各地域で開催する類似した事業につきましては、精査しながら内容の見直しを進めていきたいと考えています。

【委員】

予算は消化するものではなく活用するものであるという認識を持って、事業を実施していただきたいと思います。それでは、質問します。市で刊行した「水」、「桜」及び「祭り」の冊子に続いて、安曇野から輩出された偉人を紹介する冊子を刊行してほしいと思います。

【事務局】

人物顕彰に関しては、多くの方から御要望をいただいています。安曇野風土記の第4号の内容につきましては、まだ具体的な話は出ていませんが、安曇野市誌の編纂事業に取り組んではいかがかというお話が出ていますので、市誌のなかに人物編を盛り込めるかどうか検討したいと考えています。

【委員】

成人式の開催について提案しますが、18歳から選挙権が与えられたことを受けて、早い段階から成人としての自覚をもたせるために、安曇野市は18歳を対象に成人式を開催してみたいはいかがでしょうか。

【事務局】

18歳を対象に成人式を開催することにつきましては、今後検討をしていきます。

【委員】

図書館交流課で新規事業として計画している「夏休み物づくりワークショップ（仮称）」の具体的な内容を教えてください。

【事務局】

作家の先生を講師にお招きして、小物を作るなどを予定しています。

【委員】

拾ヶ堰沿いに整備されている、あづみ野やまびこ自転車道の今後の活用予定について教えてください。

【事務局】

今年度に「常念の里講座」を実施するなかで自転車道を活用していますし、来年度以降も活用していきます。自転車道のあり方につきましては、今後の課題とさせていただきます。

【委員】

三郷祭につきましては、他の地域の文化祭の2倍から4倍の予算で開催していますので、他の地域の文化祭のやり方を学んでいただきたいと思います。

【事務局】

今回、三郷祭について予算の見直しをしまして、平成29年度よりも予算を減額してあります。大幅に予算を減額することが難しい部分がありますが、今後も予算の見直しをするなかで、減額をしていきたいと考えています。

【委員】

例えば、豊科公民館事業で開催されている「豊科地域コーラスグループ交流発表会」など、全市的に開催できるものは、地域を限定せずに全市的に開催してみたいはいかがでしょうか。

【事務局】

「豊科地域コーラスグループ交流発表会」につきましては、以前から運営のあり方を検討していますが、今後も引き続き検討をします。

【委員】

同じ安曇野市内でも、他の地域のことをよく知らないということが多くありますので、大人も子どもも

安曇野をもっと知る機会があればと思います。

【事務局】

安曇野を知るためのフィールドワークを全市的に進めていくことは難しい問題であると考えています。今後、学校教育課と連携をとりながら進めていければと考えています。

以上